

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定（試行事業）
試行事業病院総合医養成プログラム 年次報告書

2014年 7月 30日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

理事長 殿

以下に記載した内容で、貴学会の試行事業における病院総合医養成プログラムとして認定を更新していただけますよう申請いたします。

プログラム責任者署名（自署）



1. プログラム名称			
洛和会音羽病院 病院総合医養成プログラム			
2. プログラム責任者			
プログラム責任者氏名	神谷 亨	学会会員番号	
所属・役職	洛和会音羽病院 総合診療科・感染症科 部長		
所在地・連絡先	住所 〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町 2 電話 075-593-4111 FAX 075-581-6935 E-mail rakuwadr012@rakuwadr.c om		
連絡担当者氏名・役職	*プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載		
連絡先	電話	FAX	
	E-mail		
3. 最近1年間のプログラムの概要			
<p>病院総合医として、外来、入院患者の内科的問題に幅広く対応できる力を養うことを目的とする。</p> <p>病棟業務</p> <p>急性期病床（66床）および療養型病床（10～20床）の入院患者を、総合診療科の3チームで担当する。1チームの医師数は4～5名、1チームあたり常に25～30名の患者を担当する。基本的に一人の患者を上級医と研修医の2名の医師で担当するが、チームの患者全員の状態把握に心がけ、毎日チーム内の患者についてチーム全員でディスカッションを行う。約200名/年の入院患者を受け持つ。高齢者の観嚥性肺炎、尿路感染症を始め、発熱源の精査、体重減少や食欲低下の精査、その他の感染症、膠原病などを担当する。問診、身体所見等から鑑別診断を絞るトレーニングを行う。</p> <p>外来業務（初診・再診）</p> <p>毎週1回半日の外来を担当する。外来は初診および再診の両者を診る。常に隣のブースで上級医が外来を行って入り、適宜質問、ディスカッションができる環境にある。</p> <p>救急・当直</p> <p>毎月3～4回の救急内科当直または救急病棟当直を行う。初めは副直として17時～24時を担当し、半年以上経過して診療に慣れてきたら、内科系救急当直の責任者または救急病棟当直の業務を行う。</p> <p>教育</p> <p>病棟業務、外来診療、救急当直を通じて、内科を中心にした幅広い臨床能力の修得を目指す。初期研修医や後期研修医を指導する。診療科の運営や病院の委員会での活動に積極的に関わる。</p> <p>研究：月に2回の臨床研究の講義に参加し、臨床研究の基本的用語、概念についての理解を深める。</p> <p>研修先：洛和会音羽病院 総合診療科で研修するほか、同院の内科系専門各科を適宜ローテーション研修する。洛和会丸太町病院総合診療科、京丹後市立久美浜病院、大津ファミリークリニックでの研修も可能。</p>			

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

4. 過去2年間の実績							
2012年度	新規研修開始者数		0名				
	研修修了者数		0名				
2013年度	新規研修開始者数		0名				
	研修修了者数		0名				
5. 現在のプログラム研修者該当者数（研修休止中の者を含む）							
1年目	0名	2年目	0名	3年目	0名	4年目	0名
6. プログラムにおける指導医 主たる施設における指導医以外の、関連病院の指導医は氏名の下に施設名を記載							
氏名	卒業年	専門分野・資格			専門分野・資格		
神谷 亨	H 3 年	内科学			感染症学		
		日本内科学会 総合内科専門医 米国内科専門医 日本プライマリケア連合学会認定医			日本感染症学会 感染症専門医 米国感染症専門医		
金地 研二	S 54 年	内科学			血液学		
酒見 英太	S 57 年	内科学			家庭医療学		
		日本内科学会 総合内科専門医 米国内科専門医			米国家庭医療専門医 米国老年医学認定医		
谷口 貴洋 (大津ファミリークリニック)	H7	内科学、家庭医療学			救急医学		
		日本内科学会 総合内科専門医			日本救急医学会救急専門医		
金森 真紀	H16	内科学					
		日本内科学会認定内科医					
7. 施設・診療科診療実績概要							
病床数 595 床（内総合診療部門定床 66床）							
総合診療部門外来患者実績 初診 約 339人/月 再診 約 2,116人/月							
総合診療部門入院患者実績 平均 約 95人/月							

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

8 診療実績 研修者1人平均経験症例		
急性期一般病床入院	約	0症例
集中治療室（ICU）・HCU入院症例	約	0症例
外来継続診療症例	約	0症例
看取り症例	約	0症例
委員会活動実践事例	約	0症例
教育実践事例	約	0症例
研究実践事例	約	0症例
9 診療実績 研修者一人平均経験症例 領域別		
症例数不明の場合は、おおよその割合を記載してください		
研修領域	症例数もしくは割合	主な疾患名
心疾患系	約 症例	
	約 %	
呼吸器系	約 症例	
	約 %	
消化器系	約 症例	
	約 %	
代謝内分泌・血管系	約 症例	
	約 %	
神経系	約 症例	
	約 %	
腎泌尿器科系	約 症例	
	約 %	
リウマチ性・筋骨格系	約 症例	
	約 %	
皮膚	約 症例	
	約 %	
耳鼻咽喉科	約 症例	
	約 %	
その他	約 症例	
	約 %	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

1.0. 研修者の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、具体的に）

- ・日々の病棟回診、カンファレンス、外来診療などにおいて、医学知識、思考過程、プレゼンテーション技術、コミュニケーション技術、教育力、リーダーシップ、態度などを指導医が適宜チェックし、随時フィードバックを行う。

- ・半年に1回指導医と個人面談（振り返り）を行い、上記内容の評価、将来の進路指導を行う。

1.1. プログラムの質の向上・維持の方法

- ・週1回行っている総合診療科ミーティングでは、研修内容の問題点、業務の問題点を研修医やフェローから積極的に取りあげ、改善方法を模索している。

- ・半年に1回指導医と行う振り返りの際、プログラムの問題点、改善点を聴取し、研修プログラム内容の改良に役立てる。

その他、お気づきの点やご意見等ありましたら下記にお書きください

- ・本プログラムでの研修を希望する該当者が現れたときに対応できるように、当科では研修の準備を整えましたが、残念ながらこの2年間該当者がおりません。本プログラムを開始する条件に、「研修は、家庭医療専門医や総合内科専門医などプライマリケアを含む幅広い領域の臨床研修を修了した後に開始する。」があり、本プログラムに入るあたりのハードルが高すぎる感は否めません。従来より当科では、卒後3年目から5年目の後期研修医に対して病院総合医の研修を実施しており、研修修了者は概ね病院総合医として機能することができる医師に成長しているように感じております。また、現在の日本内科学会総合内科専門医の取得過程そのものが病院総合医の修練に相当するのではないかと考えております。引き続き、該当者が現れたときに備えて対応できるように本プログラムを維持、整備していく予定です。ご高配のほど、よろしくお願い申し上げます。